

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

大川保育園

昭和54年に開園して今日まで、子ども一人ひとりを大切に、今を生きる子どもに寄り添い、子どもの可能性を引き出す保育についての手だてを理論と実践から学び続けてきました。また子どもを真ん中に、保護者と保育士とが共に子育てをしていくなかで、子どもも保護者も保育士も育ち合う保育をしてきました。その「保育」には、ゆるぎない理念がありますが、更なる学びを求めていきたいと思い、第三者評価に参加しました。

第三者評価に参加するにあたり、評価基準を読み解き、自園の保育と照らし合わせていく過程で、その過程こそが必然的に保育の質を高めていくということがわかりました。

「保育」は社会的なものであることを学び、「保育の基本姿勢・保育観」「保育の方法」「保育の環境（地域・管理運営を含めた）」等、そのあり方を一つ一つ見直していくことができました。

今回の評価結果をふまえ、改善・指導事項について真剣に対応して向上していくよう努力したいと思います。

これからも園の基本理念である「生きる力」にこだわりながら、子ども達が生き生きと過ごせる保育園、保護者が安心して共に子育て出来る保育園、地域に信頼される保育園として、職員一同、保育の質の向上を目指し研鑽していきます。